

## バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	宇都宮大学 オプト-バイオシンポジウム 会場：宇都宮大学 (陽東キャンパス)
演題名	微細藻類 <i>Euglena gracilis</i> におけるジャスモン酸合成系遺伝子の探索および発現解析
発表者	○加瀬大地* <u>[1]</u> 、加藤 翔太** <u>[2]</u> 、湯本絵美 <u>[2]</u> 、横田孝雄 <u>[2]</u> 、 <u>山根久和</u> <u>[2]</u> 、石川孝博 <u>[3]</u> 、永田典子 <u>[4]</u> 、 <u>篠村知子</u> <u>[2]</u> (植物分子細胞学研究室) [1]帝京大・院・理工、[2]帝京大・理工、[3]島根大・生物資源、[4]日本女子大・理
内容	微細藻類 <i>E. gracilis</i> には、ストレス等に応答する植物ホルモンであるジャスモン酸が存在することが報告されており、我々はその内生量や機能に関して研究を行っています。今回は、 <i>E. gracilis</i> がジャスモン酸の合成を色素体で行っていることが示唆されたこと、ジャスモン酸合成系経路遺伝子の単離について報告しました。 本研究の一部は私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、および科学研究費補助金(基盤研究C)の支援を受け、H28年度の本研究室の卒研究生、大学院生 (*) および博士研究員 (**) も参加して活発な研究交流を実施しました。
関連画像	